土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　草木高光線外単県道路改良事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	No.4	**調査位置**	No.9+0.0 L3.7			**北緯**	34° 39′ 42.6596″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2020年 9月 2日 ～ 2020年 9月 5日	**東経**	133° 18′ 22.5546″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 523.40m	**角度**	180° 上 90° 下 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	15.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦 DO-B		
エンジン	ヤンマーNFD12	**ポンプ**	東邦BG-3C				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
	523.30	0.10		表土	砂礫	黄褐			表土、砕石主体
1～15	508.40	15.00		礫岩	軟岩I	褐～灰	rd5		風化礫岩(軟岩I) 礫は硬質だがマトリックスは強い指圧、ハンマー軽打で崩れる。 礫は円礫、礫種は安山岩、斑岩、チャートなど様々で、硬質なものが多い。礫・玉石は最大でコア長20cm程度。 深さ方向に風化の程度弱くなり、全体的に硬質となる。

孔内水位／測定月日：09.05 3.56

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
75	1.15 / 1.35	22	28		50/200	200	
79	2.15 / 2.34	20	30	90	50/190	190	
214	3.10 / 3.17	50/70			50/70	70	
94	4.10 / 4.26	28	22/60		50/160	160	
500	5.00 / 5.03	50/30			50/30	30	
150	6.10 / 6.20	50			50/100	100	
188	7.05 / 7.13	50/80			50/80	80	
150	8.00 / 8.10	50			50/100	100	
500	9.05 / 9.08	50/30			50/30	30	
188	10.00 / 10.08	50/80			50/80	80	
300	11.00 / 11.05	50/50			50/50	50	
750	12.00 / 12.02	50/20			50/20	20	
188	13.00 / 13.08	50/80			50/80	80	
	14.00 / 14.00	50/0			50/0		
	15.00 / 15.00	50/0			50/0		

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

原位置試験：室内試験

削孔月日：9/2　9/3　9/4　9/5